

ふれあい

主な内容

- ながいを込めて「まゆ玉づくり」 1P
- まゆ玉づくり 1P
- 第25回 芸能音楽祭 2P
- あれや・これや/私のたのしみ 3P
- 地域のわたい 3P
- 地域の公園紹介 4P
- 活動団体紹介/部会だより/他 4P

●発行所/ひたちなか市長堀町 3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) 電話 029-275-2671 ●発行責任者/坂井 久彦 ●編集/広報委員会

ながいを込めて「まゆ玉づくり」



1月9日、中根小学校で164人が参加して、青少年部会主催による「まゆ玉づくり」が行われました。桜の木にまゆ玉を飾り、みんなでついた餅を食べ、勝田一中合唱部のコーラスを聴くなど、楽しい時間を過ごしました。



まゆ玉づくり



青少年部会長
岡田 栄子

青少年を巡る昨今の状況は、いじめ・不登校・引きこもり・少年犯罪の凶悪化に加え、情報化の急速な発展に伴い、携帯電話やインターネット等を使った犯罪など、さまざまな問題が後を絶ちません。青少年が健全にたくましく育つためには、地域活動の重要性が問われています。部会では、子どもたちを中心に、地域の大人たちを取り込んだ事業を展開しています。その一つに、一中地区内の小学校持ち回り、毎年1月「まゆ玉づくり」を開催しています。

「まゆ玉」に見立てて、赤・白・緑の餅を団子にして、木の枝に飾ります。元来この地域では、米など豊作を願って飾っていたようです。部会では子どもたちに、今年1年の目標を願いながらの飾り付けをするよう伝えられています。出来上がった枝は、学校や1中コミセンに飾りました。

事業には、勝田一中生のボランティア・保護者・地域の皆さんのサポートがあり、交流の輪の広がりを実感いたします。今後も地域活動の充実を図り、笑顔いっぱい、みんなで育てる地域の宝一を目標に青少年の健全育成と非行防止に努めていきたいと思っております。

第25回 芸能音楽祭 優雅に・楽しく・面白く!!

2月20日、第25回を迎えた芸能音楽祭が市文化会館小ホールで開催された。26団体の皆さんが、日頃練習してきた成果を発表。次々に披露される演技に会場から惜しめない拍手が送られた。今回は「一中地区ふれあい音頭」が久しぶりに披露され、会場は大いに盛り上がった。最後に特別出演として、茨城県吹奏楽連盟主催のアンサンブルコンテストで金賞を受賞した「アンサンブルStrom」の演奏が、更に華を添えた。



アンサンブルStrom



鉦鼓会



K-style



中根自治会



スイーツウクレレ



東中根団地自治会



嫡流剣詩舞の会



三反田自治会



ひばりコーラス



ハンドベルを楽しもう

東石川陣太鼓

小6 飯田 雅樹

東石川陣太鼓は、東石川小学校の5・6年生の希望者で結成したチームです。小池先生に指導いただき、学校のある朝に練習しています。みんなより早く登校するのは大変だと思うこともありますが、朝の太鼓は目が覚めます。たくさんの方の前で演奏するのは緊張しますが、楽しくできました。



大正琴 [ひびき]

海野 晴美

大正琴の音色に魅せられ、月2回静谷とし子先生のご指導で練習に励んでいます。ソプラノ・アルト・テナー・ベースを決め、楽しく弾いています。発表会では舞台上上がると緊張しますが、各パートが揃って演奏できた時の喜びは格別です。楽しみながら心癒される音色です。興味のある方は一緒に楽しんでみませんか。



一中地区ふれあい音頭の復活

一中地区ふれあいを広める会

ふれあい音頭は平成9年に制作され、かつて各種イベントに利用されてきました。この音頭の復活を祈念して、ふれあいの会理事を中心に各部会及び西中根女性セミナーの応援を受け、披露することとなりました。参加にあたっては、花蔭綾先生と川又多恵子さんに踊りの指導を受け、当日41人が舞台と客席通路に立ち、会場と一体となって発表することが出来ました。



私のたのしみ



皆さんを 楽しませる喜び

池田 斎さん(83)

富士山団地にお住まいの池田斎さんに、若い頃始めた演劇についてお話を伺いました。

池田さんは終戦後、郷里の行方郡立花村浜（現在の行方市玉造町）で実家の農業を手伝うかわら、娯楽の少ない当時、共に楽しみ笑いたいという思いから、一念発起し村の有志と素人演芸大会を開催しました。蓄音機から流れる「赤城の子守歌」をバックに国定忠治役をオーバーかつ滑稽な振り付けで演じたところ、観客の大きな笑いを誘い、その喜ぶ姿に生き甲斐を感じたそうです。

昭和29年、自衛隊に就職。様々なイベントで「名月赤城山」「雪の渡り鳥」など主に股旅物を演ずる機会を得、時に共演者同士の喜劇も交えました。定年退職後勤めた茨城県メディカルセンターや動燃でも、忘年会で演劇を披露。衣装・小道具などの準備は全て自己負担でしたが、それでも観客の笑顔を見るのが何よりも楽しく、嬉しかったそうです。

平成5年、市内の有志と慰問団を結成し、以降県内の老人ホームや神社の祭りなどで計120回以上公演。芸能音楽祭やひたちなか市高齢者芸能発表会にも参加。今も富士山団地のカラオケクラブのメンバーと共に活動を続けています。「観客と共に笑い、心を通わせ楽しむことで、若さとパワーが得られる。これからも命のある限り続けていきたい」と、温厚な池田さんが熱く語っていただきました。ご家族からも大きな理解と協力を得ておられます。

今後も富士山クラブの活動を続け、さらに芸能音楽祭にも再挑戦したいとのこと。

「皆さんを楽しませることを生き甲斐とし、そこから若さとパワーを得る池田さんの姿に心を打たれました。」



2月20日に開催された芸能音楽祭に出演し、「あさが来た」の主題歌や昨年、茨城県吹奏楽連盟主催のアンサンブルコンテストで金賞を受賞した曲などを演奏しました。私たち「アンサンブル」は、金管楽器と打楽器による小編成のグループです。このアンサンブルには、指揮者がいません。そのため曲の全体的な雰囲気作りから、旋律の歌い方や速さ、強弱など細かい部分までメンバー同士で話し合いながら練習を進めていきます。構成メンバーの年齢は20代と60代と幅広く楽



※2面に写真があります。

器の経験や経歴も異なるので、ときには意見がぶつかることもあります。しかし、ベテランの豊かな経験、若手の斬新なアイデア、中堅の実行力、それらをまとめ一つの曲を仕上げるのは、難しくも楽しい時間です。そして何よりそうやって練習した曲を披露し、お客様に喜んでもらった時が最高に楽しい音楽の時間です。またどこかで皆さんと楽しい音楽の時間を過ごせそうです。

平成25年1月4日午前7時18分頃、気温氷点下約5度、天気快晴。いつも何気なく見ている庭先の用水バケツの中に、突如として自然からの贈りもの「氷の槍」が現れた。ポリバケツの凍った氷面から空中に向けて刺すように、太さ約1cm、長さ約10cmの氷柱がそびえ立っていた。早速デジカメに収めた。その芯には少し空気の泡が入っている様子だったが、それ以外は何も変化を見つけない。二日後には、気温も上がって静かに溶けて消えていった。



「素晴らしい自然の力有難う」「人もこれ自然がくれた贈りもの」「今朝もまたバケツを覗く夢がある」※後に、この現象は水面から重力に逆らい、上に伸びる「逆つらら」と判明しました。

あれや・これや

楽しい音楽の時間

勝倉自治会
渡邊敏行

器の経験や経歴も異なるので、ときには意見がぶつかることもあります。しかし、ベテランの豊かな経験、若手の斬新なアイデア、中堅の実行力、それらをまとめ一つの曲を仕上げるのは、難しくも楽しい時間です。そして何よりそうやって練習した曲を披露し、お客様に喜んでもらった時が最高に楽しい音楽の時間です。またどこかで皆さんと楽しい音楽の時間を過ごせそうです。

水中からの贈りもの

大平自治会
塩田真弘

どんな状況下で出来るのか、気温・湿度・風・水・気圧・容器など様々な条件が重なり、出来たものと思う。今流の監視カメラやセンサーなどで記録・探求すると楽しい勉強になるかも知れない。

1中ロビーコーナー

◎ロビーに藤の花!

コミセンロビーにちりめんで作られた藤の花を飾りました。まゆ玉つくりで使った桜の木を再利用し、そこに藤の花を飾ったもので、西中根女性セミナーの皆さんが手間暇かけて作ったものです。



◎今年もひな飾り!

今年で4回目。恒例の「ひな飾り」をコミセン館内1・3階に展示。10人の方からの寄贈です。



地域のわだい

元朝参りで賑わう吉田神社

西中根自治会

西中根の県道63号沿いに吉田神社があります。今年も元朝参りで賑わいました。元朝参りとは、大晦日の夜から元旦にかけて初詣をすること。夜中の11時頃はまだ参拝者はまばらでしたが、紅白歌合戦が終わり除夜の鐘が鳴る頃になると、続々とやってきました。まず、神前に向かって今年1年の願い事を祈願。参拝が済んだ氏子の皆さんは、境内広場のたき火を囲んで暖をとりながら、新年の挨拶を交わしていました。氏子の世話人たちは、参拝者にお神酒・甘酒・みかんなどを振る舞っていました。

今年の大晦日・元旦は風もなく暖かで穏やかでした。何か良いことが期待できる1年になりそう!



ゲートボールを一緒にしませんか

笹野長寿会ゲートボール部

笹野地区の約10人が月～金の午前中、中根第1公園でゲームを楽しんでいます。有志が始めて25年。2007年にねりんピック（全国健康福祉祭）で決勝リーグ6試合を勝ち抜き優勝。楽しい思い出となりました。

ゲートボールは国体の公開競技で、5人1チームの団体戦。競技の基本はゲートを狙って正確に打つことですが、加えて作戦とチームプレーが不可欠です。敵・味方のボールの位置を把握し、1打ごとに状況が変わる中、いかに味方に有利・相手に不利に打つかがポイント。勝利できた時の気分は最高です。今後、ねりんピック全国大会（10月）出場を目標に活動しますが、高齢化や定年延長によりメンバーがなかなか増えないのが悩みです。部名に「長寿会」とありますが、若い人も楽しめます。皆さんぜひ、いらしてください!



趣味の作品展示会を実施

大平自治会

2月13・14日、恒例の作品展示会を大平会館で行いました。写真・水彩画・粘土細工・書・絵手紙・短歌・人形等、計70点以上を展示。個人のほか家族・グループでの出品も多数ありました。いずれも玄人はだしの出来栄で、作品に込めた思いが十二分に伝わって来ました。

期間中の来場者は約250人。和気あいあいとした雰囲気の中、感想を語り合ったり、知人の特技など意外な一面に驚く人の姿が印象的でした。

毎年2月初旬の土・日に実施しています。今後も継続していきますので、今まで足を運んだことのない方もぜひ見に来てください。



地域の公園紹介 (長松自治会)

長堀公園

- * 長松地区の防災訓練・夏祭り・餅つき等のイベントが行われます。輪投げ・グランドゴルフの活動場所としても利用しています。
- * 公園内に長松倶楽部が建っています。
- * 新しいトイレが設置されました。
- * 春は桜の花が見事です。



長堀第3公園

- * 長松自治会が、市公園緑地課から花壇の手入れ管理を委託され、近くの住民の目を楽しませています。
- * 小さい子どもが楽しめる遊具や砂場があります。



中根第2公園

- * 小さい子供が遊ぶ遊具があります。
- * 公園を一周できるウォーキングロードがあります。



中根第4公園

- * 長松自治会が、市公園緑地課から除草・庭木の手入れを管理委託され、晩秋は皇帝ダリアがきれいです。
- * 長松自治会の防災倉庫があります。



1中ヨミセシ活動団体紹介

身も心も凛として

ふれあい着物着付け教室 亀山 啓子
この教室の始まりは平成9年、打越はつ江先生と武石貞子先生の「箆笥の中に眠っている着物を、何とか皆さんに着てもらいたい」という願いから開いていただいた教室です。今もお二人の先生方にご指導いただいております。

現在は着物を着る機会が減ってきていますが、お宮参り・七五三に始まり、成人式・結婚式等々、人生の節目を着物で装ってはいかがでしょうか・・・何よりも着物は洋服と違い、流行に左右されることはありません。少しの体形の変化にも対応できます。小物類も一通り揃えてあれば大丈夫です。自分で着物を着付けて姿見の前に立てば、自然と背筋が伸びてシャキッとします。何でも質問すれば教えていただけます。

祖母や母から受け継いだ着物、若かりし頃の思い出の着物等を各自持参して、楽しく着付けを勉強しております。そして、教室で着物を着て食事会等に出かけ親睦を深めるのが、何よりの楽しみです。

どうぞ、日本の民族衣装である着物を一人でも多くの方に着ていただき、若い世代に受け継いでいって欲しいと思います。教室は第2・4火曜日の午前中、ヨミセシ3階談話室で開いております。着物に興味がある方は、一度見学にお出かけください。先生はじめ教室一同お待ちしております。



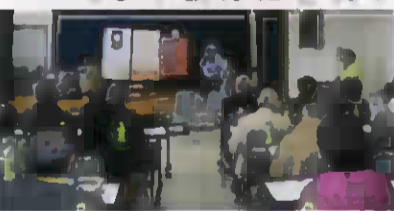
部会だより

体育部会



第11回フアミリーハードミント大会が、2月14日松戸体育館を会場に15チーム70人の参加者を集めて開かれた。
優勝 二反田Aチーム
準優勝 勝倉チーム
初めてラケットを持った人でも楽しめる競技で、参加者はいい汗を流していた。

福祉部会



2月29日、60人の参加により、今年初めての2回目の地域福祉講習会「認知症を学ぶ地域で支えよう」認知症サポーター養成講座」が行われた。
全・ふれあいセンターにある「南都おとしより相談センター」職員による「日常よくある事例で、認知症のおとしよへの対応の仕方」が主眼で、笑いの中にもうなすくことも多くあり、今後にも生かして行きたい内容であった。
家族や個人の質問とあきらかに地域の方々の相談センターに相談しましょう

青少年部会



2月6日、福島県二本松市にある「あたたら高野スキー場」で親子ふれあいスキーを開催した。総勢46人も参加し、天気に恵まれ最高のコンディションの中で、スキー教室に参加したり自由に滑ったりと、楽しい一日を過ごした。上達した子どもたちも表彰状をもらって、来年も参加したいと元気な声。
いい思い出です。また今年も参加したいと元気な声。
いい思い出です。また今年も参加したいと元気な声。

環境部会

当部会では、年3回の地域巡視と日々の不法投棄監視を行っている。
2月5日晴天のもと、小砂町と松戸町の県道・市道を総勢約30人で巡視。ゴミ収集を行った。勝田工高クワンド東側、市道脇の林には、「不法投棄禁止」の立札があるにもかかわらず、家庭ごみが多数捨てられていた。林の中は草木が生い茂り、目立たないため捨てて行ったものと思われる。



今回は、青少年部会主催の「まは玉つくし」を開催しました。また今回の公園紹介は長松地区です。小さい子どもが喜ぶ遊具やきれいな花も見られるので、ぜひ出かけてみてください。
今後、皆様にご協力いただき、地域密着の紙面作りをさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。